

## 岩手県ユニセフ協会「2016 ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動」報告

～栄養不良から小さな命を守ろう～

ボランティア429名(内 中学生・高校生380名)が参加



毎年、590万人の5歳未満の子どもたちが命を失っています。そのほとんどは感染症や下痢、栄養不良など本来防ぐことができる原因によるものです。世界を見渡せば、年間約295万人の子どもが栄養不良で命を落とし、また1億5900万人もの子どもが、乳幼児期の栄養が足りず、健全な成長を阻まれています。

栄養不良は食べ物が不足していることだと思われがちですが、単に量が不足しているということではなく、必要な栄養が不足していることなのです。身体の成長に欠かせないたんぱく質や、免疫力をつけるビタミンAなどの栄養素が足りないと、風邪や下痢などごくありふれた病気が原因で命を落とす危険が高まります。そして、知らず知らずのうちに子どもの知能の発達を遅らせることさえあるのです。目に見えにくく、ひそかに子どもたちの未来と命を脅かす……。栄養不良の恐ろしさはそこにあります。

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織岩手県ユニセフ協会(滝沢市土沢)の「2016 ハンド・イン・ハンド街頭募金」活動は、花巻市:12月3日、盛岡市:12月3・10・11日、宮古市:12月11日に実施しました。県内14会場に中学生・高校生・一般ボランティア429名が参加しました。

### ●ユニセフ募金額は 653,891 円でした。

ご協力いただきました企業・団体・個人のみなさま、ありがとうございました。

参加したボランティアさんから「集まったお金で、世界の子どもたちが健康に生活できるようになってほしい」「声がけを工夫して行う高校生からたくさん学びながら活動できました。小さな子どもを持つ家族や高齢者の方からたくさん募金してもらうことは嬉しい体験でした。」などの感想が寄せられました。

### ●参加校 16 校

宮古市立宮古西中学校、宮古市立第一中学校、宮古市立第二中学校、宮古市立河南中学校  
県立花巻農業高校、県立花北青雲高校、花巻市立南城中学校  
盛岡市立大宮中学校、盛岡市立河南中学校、盛岡市立土淵中学校、盛岡市立松園中学校  
滝沢市立第二中学校  
盛岡白百合学園高校、盛岡中央高校、県立盛岡北高校、県立盛岡第一高校



▲募金活動の前に紙芝居でユニセフを学びました



▲盛岡市ホットライン肴町にて

### ●参加ボランティアの感想

- ・募金活動を通して社会の現実を知りました。どのような目的で活動しているのかをまず、自分自身がよく知り、それを人に伝えなければいけないので、もっと自分がユニセフについて知るべきだと思いました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。(盛岡 高校女子)
- ・この活動は初めてでしたが、たくさんの方々が募金をしてくださり、たくさんの方々の募金に協力しようというあたたかい気持ちが伝わってきて感動しました。今後もボランティア活動には積極的に参加していきたいと思います。(盛岡 中学男子)
- ・自分が活動に参加することで世界のだれかを助けることができると思うとうれしくなります。とてもいい活動に参加できたと思いました。ありがとうございました。(盛岡 中学男子)
- ・初めて募金活動をやってみて、募金活動の大変さがわかりました。小さい子から大人の方まで募金してくださって、お金を入れてもらえた時の喜びを感じることができました。困っている子どもたちのために、今の私になにができるのか考えるきっかけができたのでよかったですと思いました。(盛岡 高校女子)

### ●一般ボランティアの感想

- ・場所と人数を制限されたためやり辛かった。短い時間でも大きな声で募金を呼びかける子どもたちの声がうれしかった。今回は風も強く、寒かったけど皆ガンバってくれました。(カワトクに参加)
- ・2か所での実施(去年は3か所)。募金する人は多い気がした。大宮中学校、去年も参加し、今年もという生徒、来年もやりたいという生徒、皆うれしそうな顔だった。終了時刻になっても「あと30分やらしてください。」と意欲を見せる生徒もいた。先生も生徒と同じ1時間交代で3名いらっしや、関わる方が増えることは今後につながるよいことだと感じました。(イオンモール盛岡南に参加)

### <連絡先>

岩手県ユニセフ協会 電話:019-687-4460

2016 ハンド・イン・ハンド街頭募金活動



▲イオンモール盛岡南



▲アネックスカワトク



▲イオンモール盛岡



▲宮古 ベルフ西町



▲MOS S ビル



▲花巻 ビフレ花巻店